

### 3.3 受注側クライアント管理作業

ここでは、受注側クライアント機能の起動・終了方法、メーカー情報管理方法等の受注側クライアントの管理作業方法について説明します。

また、エラー時の対処方法および、障害対策についても説明します。

・システムの起動・終了 .....	3.3.1参照
・メーカー情報管理 .....	3.3.2参照
・履歴管理 .....	3.3.3参照
・クライアント情報管理 .....	3.3.4参照
・エラー時の対応 .....	3.3.5参照
・障害対策 .....	3.3.6参照

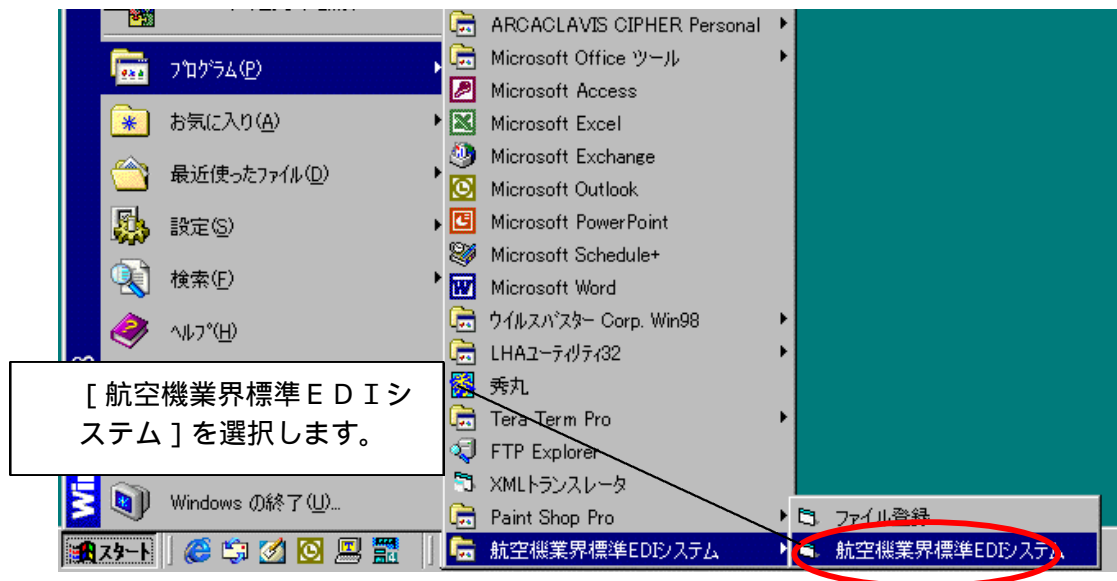
### 3.3.1 システムの起動・終了手順

ここでは、システムの起動・終了に関する手順を説明します。

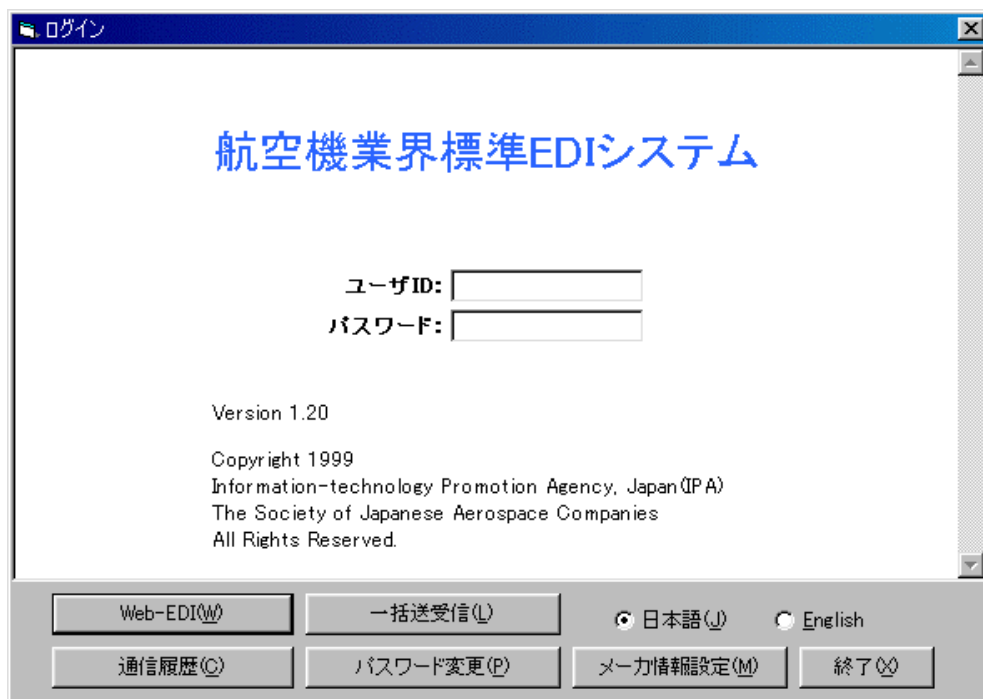
- ・システムの起動・終了 ..... (1)参照
- ・システムへのログイン ..... (2)参照

(A) システムを起動します。

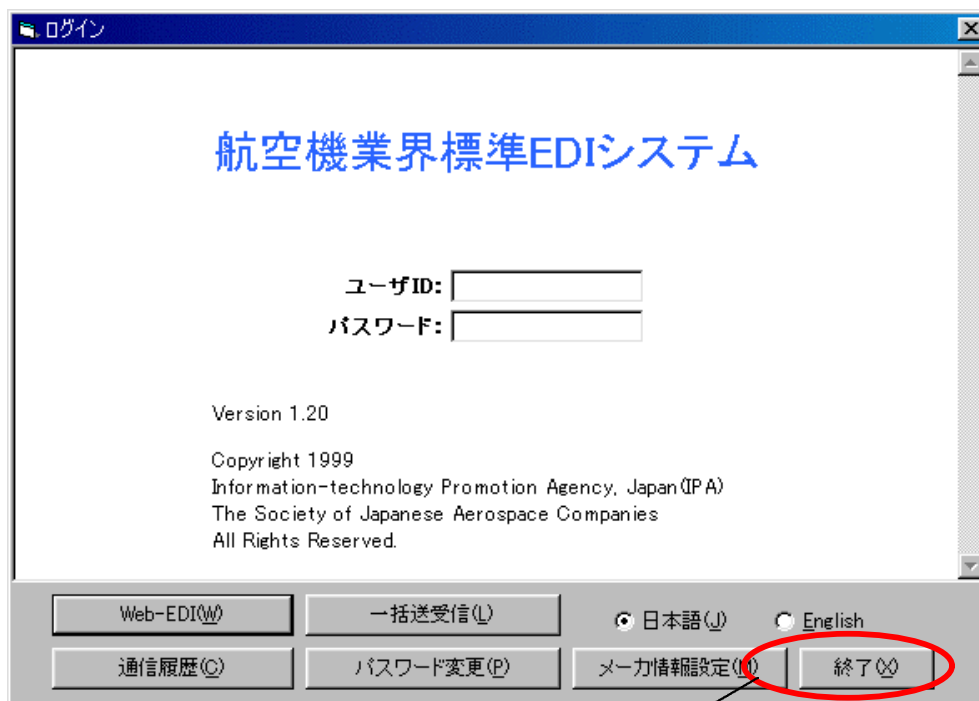
(a) Windowsの[スタート]メニューから[プログラム] [航空機業界標準EDIシステム] [航空機業界標準EDIシステム]を実行します。



(b) 起動に成功すると、以下の「ログイン画面」が表示されます。



(B) システムを終了します。



[終了] ボタンをクリック  
します。

(A) システムにログインし、各処理を起動します。

ユーザIDを入力します。

パスワードを入力します。

言語モードを選択します。

3.3.3 履歴管理手順を参照して下さい。

3.3.4 クライアント情報管理手順を参照して下さい。

3.3.2 メーカー情報管理手順を参照して下さい。

<注意>

初回起動時のユーザIDとパスワードは“edi”に設定されています。  
ユーザIDとパスワードの変更手順は、3.3.4 クライアント情報管理手順を参照して下さい。

<補足>

起動時にユーザ認証が行われますので、正しいユーザIDとパスワードを入力しないと処理を起動できません。

### 3.3.2 メーカー情報管理手順

ここでは、メーカー情報の管理手順を説明します。

メーカー情報管理では、「メーカー情報設定画面」を基本として、以下の操作を行います。

- ・メーカー情報設定画面表示 ..... (1)参照
- ・クライアント認証キーの登録 ..... (2)参照
- ・クライアント認証キーの削除 ..... (3)参照
- ・メニュー表示情報変更 ..... (4)参照
- ・一括処理の設定 ..... (5)参照
- ・メーカー情報の変更 ..... (6)参照

「ログイン画面」より[メーカー情報設定]ボタンをクリックすると、以下の「メーカー情報設定画面」が表示されます。

(A) 各ボタンより指定の処理を実行します。

クライアント認証キーを登録し、EDIサーバからメーカー情報を取得します。

クライアント認証キーを削除します。

メニュー表示情報を変更します。

一括・Web区分を変更します。

メーカー情報を変更します。

「ログイン画面」に戻ります。

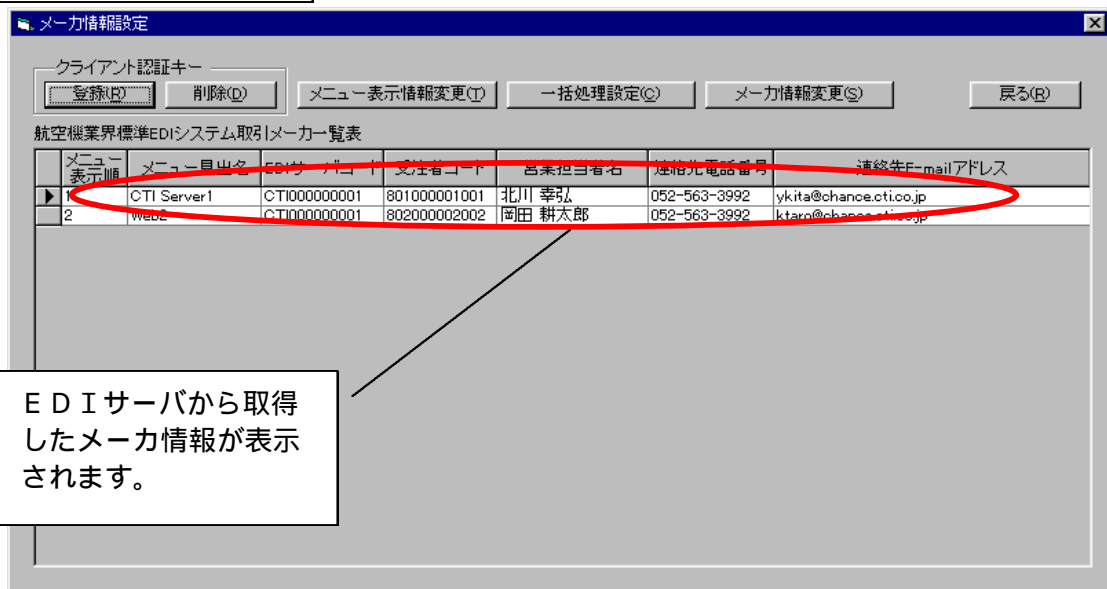
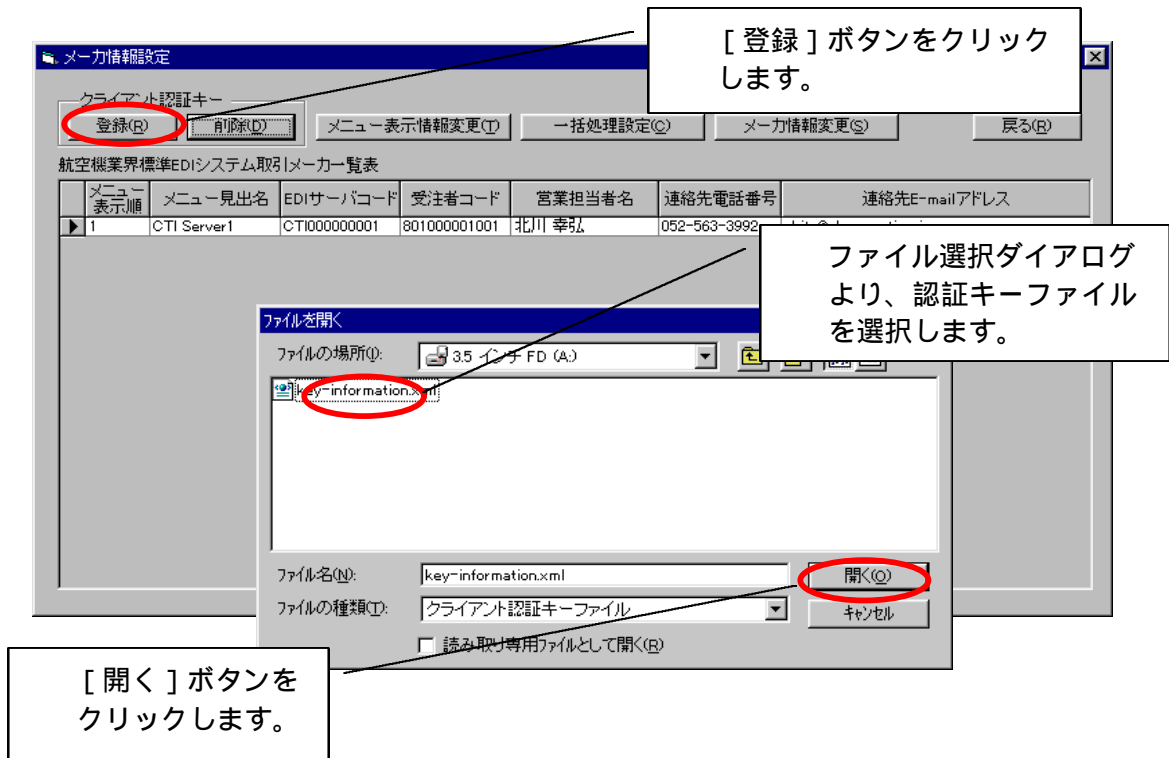
**<留意事項>**

登録済みである全ての認証キーに対して、EDIサーバに接続してメーカー情報を取得するので、画面表示に時間がかかる場合があります。

**<注意>**

EDIサーバからメーカー情報を取得できない場合、受注者コード、営業担当者名、連絡先電話番号、連絡先E-mailアドレスは全て空欄で表示されます。

クライアント認証キーを登録し、E D Iサーバからメーカー情報を取得します。



<留意事項>

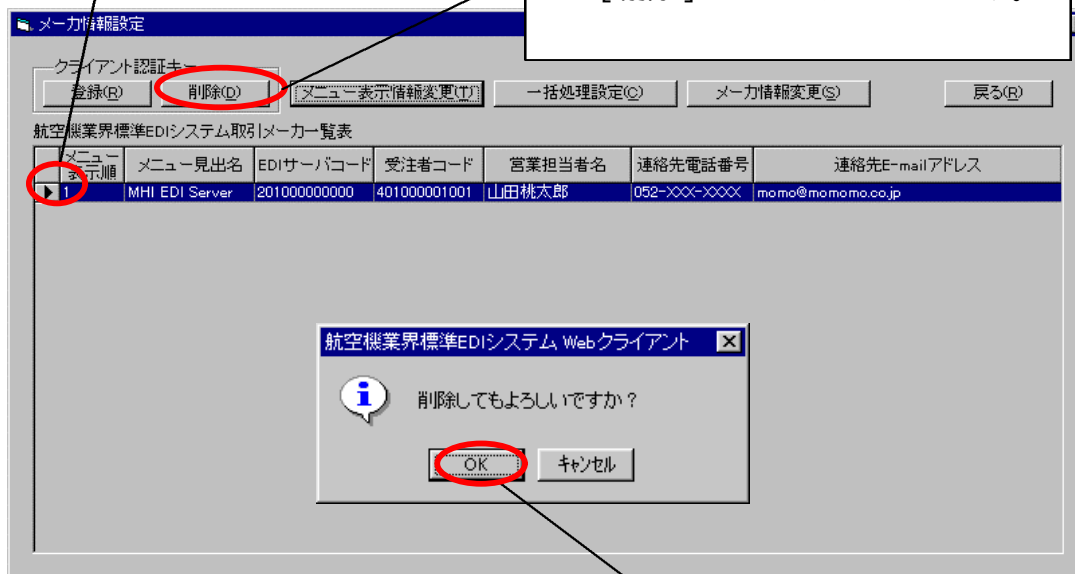
認証キーの登録後、E D Iサーバに接続してメーカー情報を取得するので、表示に時間がかかる場合があります。



既に登録されているクライアント認証キーを削除します。

削除対象のメーカー情報を選択  
します。

[削除] ボタンをクリックします。



[OK] ボタンをクリック  
します。

メインメニューに表示するメーカー情報の表示順及び見出し名を変更します。

変更対象のメーカー情報を選択します。

メニュー表示順	メニュー見出し名	EDIサーバコード	受注者コード	営業担当者名
▶	MHI EDI Server	201000000000	401000001001	山田桃太郎

[メニュー表示変更] ボタンをクリックします。

メニュー表示順を入力します。

メニュー見出し名を入力します。

メニュー表示順

メニュー画面の表示順を変更します

メニュー見出し名

MHI EDI Server

メニュー画面の情報件数の見出し名を変更します

登録 キャンセル

[登録] ボタンをクリックします。

<補足>

メニュー表示順により、メインメニューの一覧部分に表示される左からの並び順を設定します。

<補足>

メニュー見出し名により、メインメニューの一覧部分のタイトルに表示される名称を設定します。

<補足>

変更内容を登録しないで前画面に戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックして下さい。

各受発注業務について、データ送受信方式を設定します。

一括・Web区分変更

EDIサーバコード : MHI170000001      サーバ名 : CTI801  
受注者コード : 801000001001      営業担当者名 : テスト担当者Web2

Web1 受発注情報送受信方式設定

発注者 提供情報

見積依頼情報(R)	<input type="checkbox"/> 一括
注文情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括
注文残高情報(B)	<input type="checkbox"/> 一括
納期確認情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括
入荷情報(A)	<input type="checkbox"/> 一括
検査情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括
検収情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括
円貨確定依頼情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括
買掛金計上情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括

受注者 提供情報

見積回答情報(P)	<input type="checkbox"/> 一括
出荷情報(S)	<input type="checkbox"/> 一括
納期回答情報(Q)	<input type="checkbox"/> 一括
円貨確定情報(S)	<input type="checkbox"/> 一括

登録(R)      キャンセル

受注者提供情報で、一括処理を行う場合は、チェックをONにします。

[登録] ボタンをクリックします。

<補足>

変更内容を登録しないで前画面に戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックして下さい。

E D Iサーバに登録されているメーカー情報を変更します。

The screenshot shows a web form titled 'メーカー情報変更' (Manufacturer Information Change). The form contains the following fields and callouts:

- 受注者コード** (Order Code): 401000001001
- 営業担当者名(P)** (Sales Person Name): 山田桃太郎 (Callout: 営業担当者名を入力します。)
- 営業担当部課名(S)** (Sales Department Name): AA事業部 BB部 (Callout: 営業担当部課名を入力します。)
- 電話番号(T)** (Phone Number): 052-XXX-XXXX (Callout: 電話番号を入力します。)
- E-Mailアドレス(E)** (E-mail Address): momo@momomo.co.jp (Callout: E-mailアドレスを入力します。)
- Buttons:** 登録(R) (Callout: [登録] ボタンをクリックします。) and キャンセル

At the bottom of the form, there is a note: 'メーカー情報の変更は発注者のEDIサーバに変更情報を送信します' (Changing manufacturer information sends change information to the issuer's EDI server).

<補足>

変更内容を登録しないで前画面に戻るには、[キャンセル] ボタンをクリックして下さい。

<注意>

本機能は、E D Iサーバ上で管理されているメーカー情報を変更する機能です。メーカー情報変更画面からメーカー情報設定画面に戻る時は、E D Iサーバからメーカー情報を取得していないので、メーカー情報設定画面の表示内容は変更されません。メーカー情報の変好結果を確認するには、再度、「ログイン画面」から「メーカー情報設定画面」を表示してください。E D Iサーバから最新のメーカー情報が取得されます。

<留意事項>

メーカー情報の変更内容をE D Iサーバに送信するので、処理に時間がかかる場合があります。

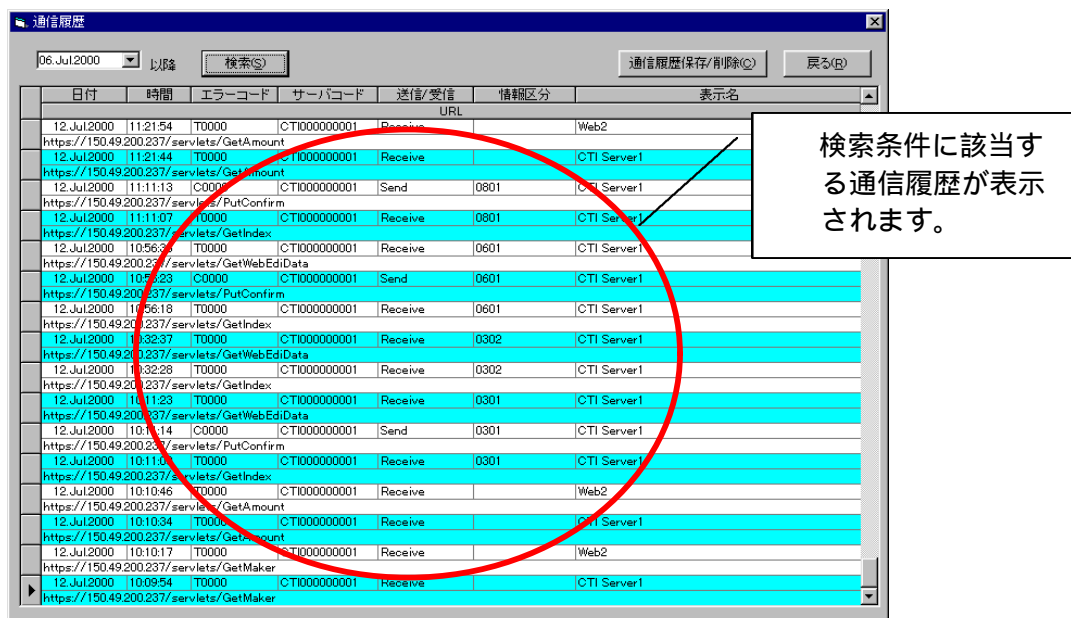
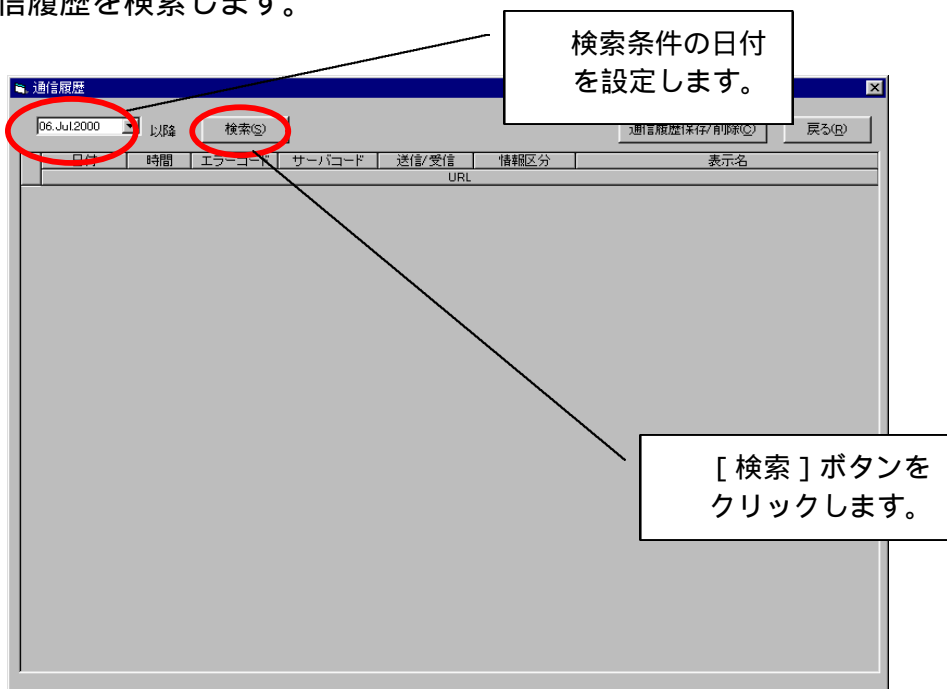
### 3.3.3 履歴管理手順

ここでは、通信履歴管理手順について説明します。

- 通信履歴管理 ..... (1)参照
- 通信履歴の表示・検索
- 通信履歴のファイル保管
- 通信履歴の削除

「ログイン画面」より [ 通信履歴 ] ボタンをクリックすると、以下の「通信履歴画面」が表示されます。

(A) 通信履歴を検索します。



(B) 通信履歴を保存します。

[通信履歴保存/削除] ボタンをクリックします。

保存条件を設定します。

[保存] ボタンをクリックします。

保存ファイル名を入力します。

[保存] ボタンをクリックします。

<補足>

で入力する保存ファイル名に拡張子は必要ありません。自動的に".csv"の拡張子が付きます。

## (C) 通信履歴を削除します。

[通信履歴保存/削除] ボタンをクリックします。

削除条件を設定します。

[削除] ボタンをクリックします。

## &lt;留意事項&gt;

[検索] ボタンをクリックして、検索結果を画面に表示した後で削除処理を実行すると、削除処理の後で画面上の検索結果が更新されます。

## &lt;留意事項&gt;

受注側クライアントプログラムが EDI サーバと通信を行うたびに、その履歴情報が通信履歴として記録されます。通信履歴を削除せずに、放置すると通信履歴が膨大な量となり、通信履歴の表示・検索に非常に時間がかかるようになります。

定期的な通信履歴の削除を推奨いたします。

頻度としては 1 週間に 1 回の通信履歴削除を推奨いたします。



### 3.3.4 クライアント情報管理手順

ここでは、クライアント情報管理手順を説明します。

- ・ユーザID・パスワード変更 ..... (1)参照

「ログイン画面」より [パスワード変更] ボタンをクリックすると、以下の「パスワード変更画面」が表示されます。

(A) ユーザID及びパスワードを変更します。

The screenshot shows a dialog box titled "パスワード変更" (Change Password) with the following fields and buttons:

- ユーザID(U):** Contains the text "ledi". A callout box states: "ユーザIDを変更する場合は、新しいユーザIDを入力します。" (If you want to change the user ID, enter the new user ID.)
- パスワード(P):** Contains three asterisks "\*\*\*". A callout box states: "旧パスワードを入力します。" (Enter the old password.)
- 新しいパスワード(N):** An empty field. A callout box states: "新しいパスワードを入力します。" (Enter the new password.)
- パスワード確認(C):** An empty field. A callout box states: "新しいパスワードを再入力します。" (Re-enter the new password.)
- Buttons:** "登録(R)" (Register) and "キャンセル" (Cancel). A callout box points to the "登録(R)" button and states: "[登録]ボタンをクリックします。" (Click the [Register] button.)

<注意>

パスワードは、入力した全ての文字が“\*”で表示されますが、文字は正しく入力されています。

<補足>

設定内容を変更しないで前画面に戻るには、[キャンセル]ボタンをクリックして下さい。

### 3.3.5 エラー時の対処方法

ここでは、エラー時の対処方法について説明します。

- ・エラー出力時の対処方法 ..... (1)参照
- ・通信エラー出力時の対処方法 ..... (2)参照

( 1 ) エラー出力時の対処方法

ここでは、エラーログファイルに出力されてるエラー内容、対処方法を説明します。

表 3 . 3 . 5 - 1 エラー一覧( 1 / 4 )

No .	エラー内容 ( エラーコード )	対処方法
1	通信履歴の書き込みに失敗しました。( 0002 )	プログラムをセットアップしたディレクトリ内のlogディレクトリ内のcommunicationlog.csvを他のプログラムが開いていないかを確認してください。そうでない場合、通信履歴ファイルが壊れているので、通信履歴ファイルの再セットアップを行います。 再セットアップの詳細は、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
2	保存先の空き領域が不足しています。保存先を変更してください。( 0003 )	保存先のディスクの残り容量を確認してください。
3	保存先の媒体は書き込み禁止です。保存できませんでした。( 0004 )	保存先媒体が書き込み可能であることを確認してください。
4	リソースファイルが見つからないか壊れています。( 0006 )	画面リソースファイルを再セットアップしてください。 詳細については「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
5	クライアント情報ファイルが見つからないか壊れています。( 0007 )	クライアント情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
6	メーカー情報ファイルが見つからないか壊れています。( 0009 )	メーカー情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
7	共通コード表XMLファイルが見つからないか壊れています。( 0012 )	共通コード表ファイルを再セットアップしてください。 詳細については「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。

表 3 . 3 . 5 - 1 エラー一覧( 2 / 4 )

No .	エラー内容 ( エラーコード )	対処方法
8	サーバエラーが発生しました。 ( 0014 ) Server Code : サーバコード Supplier Code : 受注者コード Error Code : エラーコード Supplier Name : メインメニュー の表示名	サポート窓口へ連絡し、 ・ エラーが発生した画面名 ・ サーバエラーが発生したこと ・ サーバコード ・ 受注者コード ・ エラーコード を伝えてください。
9	ユーザIDおよびパスワードの更新に失敗しました。( 0019 )	クライアント情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
10	ユーザIDおよびパスワードを入力して下さい。( 0020 )	ユーザID及びパスワードを正しく入力します。
11	パスワードが不正です。( 0021 )	前回登録したパスワードを正しく入力します。
12	新しいパスワードとパスワード確認の内容が異なります。 ( 0022 )	新しいパスワードとパスワードは同一の内容にする必要があります。
13	数値を入力してください。 ( 0023 )	数値を入力すべき領域に、文字が入力されています。 正しい数値を入力しなおします。
14	入力文字数が範囲を超えています。( 0032 )	範囲に収まるようにデータを修正します。
15	日付を入力して下さい。( 0033 )	ありえない日付もしくは日付として識別不能なデータが入力されています。 正しい書式にて日付を入力してください。
16	この受注者用の認証キーが見つかりません。	クライアント認証キーを登録します。 「 3 . 3 . 2 ( 2 ) クライアント認証キーの登録」を参照してください。
17	以下のサーバから以下のファイルを取得できませんでした。 ( 0037 ) Server Code : サーバコード Supplier Code : 受注者コード File Name : ファイル名	サポート窓口へ連絡し、 ・ 使用中の画面名 ・ ファイルが取得できないこと ・ サーバコード ・ 受注者コード ・ ファイル名 を伝えてください。
18	全角文字は入力できません。 ( 0041 )	入力を半角文字に修正します。

表 3 . 3 . 5 - 1 エラー一覧( 3 / 4 )

No .	エラー内容 ( エラーコード )	対処方法
19	半角カタカナ文字は入力できません。( 0042 )	半角カタカナを入力から除外します。
20	ネットワークエラーが発生しました。詳細については通信履歴を確認して下さい。( 0048 )	( 2 ) 通信エラー出力時の対処方法を参照してください。
21	予期しないエラーが発生しました。( 0099 ) Error Code : エラーコード	サポート窓口へ連絡し、 ・使用中の画面名 ・予期しないエラーが発生したこと ・エラーコード を伝えてください。
22	ユーザIDまたはパスワードが違います。( 0101 )	正しいユーザID、パスワードを再入力後、処理を継続してください。
23	空のパスワードは登録できません。( 0103 )	パスワードには、最低1文字以上の文字列が必要です。 新パスワード、パスワードに1文字以上の文字列を入力します。
24	通信履歴保存中にエラーが発生しました。( 3721 )	通信履歴ファイルを再セットアップしてください。 詳細については、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
25	通信履歴は存在しません。( 3724 )	一度もE D Iサーバに接続していない場合に表示されます。
26	クライアント認証キーの削除に失敗しました。( 4105 )	メーカー情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
27	クライアント認証キーの登録に失敗しました。( 4106 )	メーカー情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
28	メニュー表示情報の変更失敗しました。( 4111 )	メーカー情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。

表 3 . 3 . 5 - 1 エラー一覧( 4 / 4 )

No .	エラー内容 ( エラーコード )	対処方法
29	メーカー情報の変更失敗しました。( 4131 )	メーカー情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。
30	一括処理区分の登録失敗しました。( 4121 )	メーカー情報ファイルを再セットアップしてください。 詳細については、「 4 . 3 . 2 使用環境設定」を参照してください。





以下に通信エラー時のエラー内容と対処方法を示します。

表 3 . 3 . 5 - 1 通信エラー一覧

No	エラー内容 (エラーコード)	対処方法
1	WWWサーバ名を解決できない。(T1001)	クライアント認証キーを再登録する。
2	WWWサーバに接続できない。(T1002)	PCのネットワーク設定を調査し、当該EDIサーバに接続できるかを確認します。 接続確認には、インターネットエクスプローラにてEDIサーバのURLを表示できるかを確認すると良いでしょう。 PCのネットワーク設定に問題が無い場合、EDIサーバが非常に混雑している可能性があります。 しばらくたってから、業務を再開してください。 インターネットエクスプローラにてEDIサーバに接続できない場合、ネットワーク管理者に連絡してください。
3	WWWサーバの応答を解析できない。(T1003)	EDIサーバのインターネット配信機能(Webサーバ)がダウンしている可能性が高いです。 しばらくしてから、業務を再開してください。 それでも同一のエラーが出る場合は、サーバ管理者に連絡をとってEDIサーバの状況を確認してください。
4	受信データをデコードできない。(T1004)	通信回線の状態が悪く、データ伝送エラーが発生していることが想定されます。 しばらくしてから業務を再開してください。
5	レスポンスヘッダーからファイル名が取得できない。(T1005)	
6	受信データ保存処理中にエラーが発生(T1006)	PCのディスクの空き領域を確認してください。
7	受信確認データ処理中にエラーが発生(T1007)	空き領域が十分(200MB程度以上)の場合、プログラムの稼動に必要な設定ファイルが壊れている可能性があります。 航空機業界標準EDIシステム FAX受発注機能をアンインストールしてから、再度インストールしてください。

8	接続タイムアウトエラー (T1009)	ネットワークケーブルが外れていないか？ を確認してください。 そうでない場合は、EDIサーバがダウンしているか、EDIサーバが非常に混雑している可能性があります。 しばらくしてから業務を再開してください。
9	サーバ証明書がインストールされていない。(T2001)	サーバ証明書をインストールしてください。
10	サーバ証明書の有効期限が切れている (T2002)	
11	サーバ証明書の名前が正しくない (T2003)	
12	予期しないネットワークエラー (T9999)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：T9999(mmmmm) のmmmmmの部分のコード を通知してください。
13	サーバ環境設定ファイルのIOException (C0010)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
14	サーバ環境設定ファイルが見つからない (C0011)	
15	サーバ環境設定ファイルの内容不全 (C0012)	
16	サーバ環境設定ファイルより返された位置にEDIマスタディレクトリが見つからない (C0013)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
17	サーバ環境設定ファイルより返された位置にセッション作業用ディレクトリが見つからない (C0014)	
18	サーバ環境設定ファイルより返された位置に送信データ用ディレクトリが見つからない (C0015)	
19	サーバ環境設定ファイルより返された位置に送信履歴データ用ディレクトリが見つからない (C0016)	

20	サーバ環境設定ファイルより返された位置にメーカ情報変更データ用ディレクトリが見つからない (C0019)	
21	サーバ環境設定ファイルより返された位置にサブレット関連ドキュメント用ディレクトリが見つからない (C0021)	
22	サーバ環境設定ファイルより返された位置にメーカ情報ディレクトリが見つからない (C0021)	
23	リクエストメッセージのデータ完全性チェックNG (C0100)	
24	リクエストメッセージの内容不全 (C0111)	
25	認証キーが設定されていない (C0201)	
26	認証キーが不正である (C0202)	正しいクライアント認証キーを登録し、業務を再開してください。 それでも同一のエラーが出る場合は、サポート窓口まで連絡してください。
28	メーカ情報送込みメソッドにおいて予期しないエラーが発生 (C0500)	業務を再開して、同様のエラーが発生する場合は、サポート窓口まで連絡し、 ・ネットワークエラーが発生したこと ・エラーコード：Cmmmm を通知してください。
29	メーカ情報送込みメソッドにおいてIOExceptionが発生 (C0501)	
30	メーカ情報送込みメソッドにおいて、メーカコードディレクトリが見つからない (C0502)	
31	メーカ情報送込みメソッドにおいて、取得対象メーカ情報が存在しない (C0503)	
32	メーカ情報変更情報取込みメソッドにて予期しないエラーが発生 (C0700)	
33	メーカ情報変更情報取込みメソッドにおいてIOExceptionが発生 (C0701)	

34	メーカー情報変更情報取込みメ ソッドにおいてメーカー情報変 更ファイルの内容不全 (C0702)
35	サーバ障害発生 (C9999)

### 3.3.6 障害対策

ここでは、受注側クライアント管理作業での障害対策について説明します。

尚、技術サポートの詳細問い合わせ先は、EDI取引契約時に発注会社が示す窓口、若しくは、航空機業界EDIセンターにより示される窓口となります。

- ・ 障害対策 ..... (1)参照
- ・ 障害状況の判別 ..... (2)参照
- ・ 障害要因の排除 ..... (3)参照
- ・ 障害情報の採取 ..... (4)参照

( 1 ) 障害対策

障害が発生してから正常に戻るまでの作業の流れを、図 3 . 3 . 6 - 1 に示します。

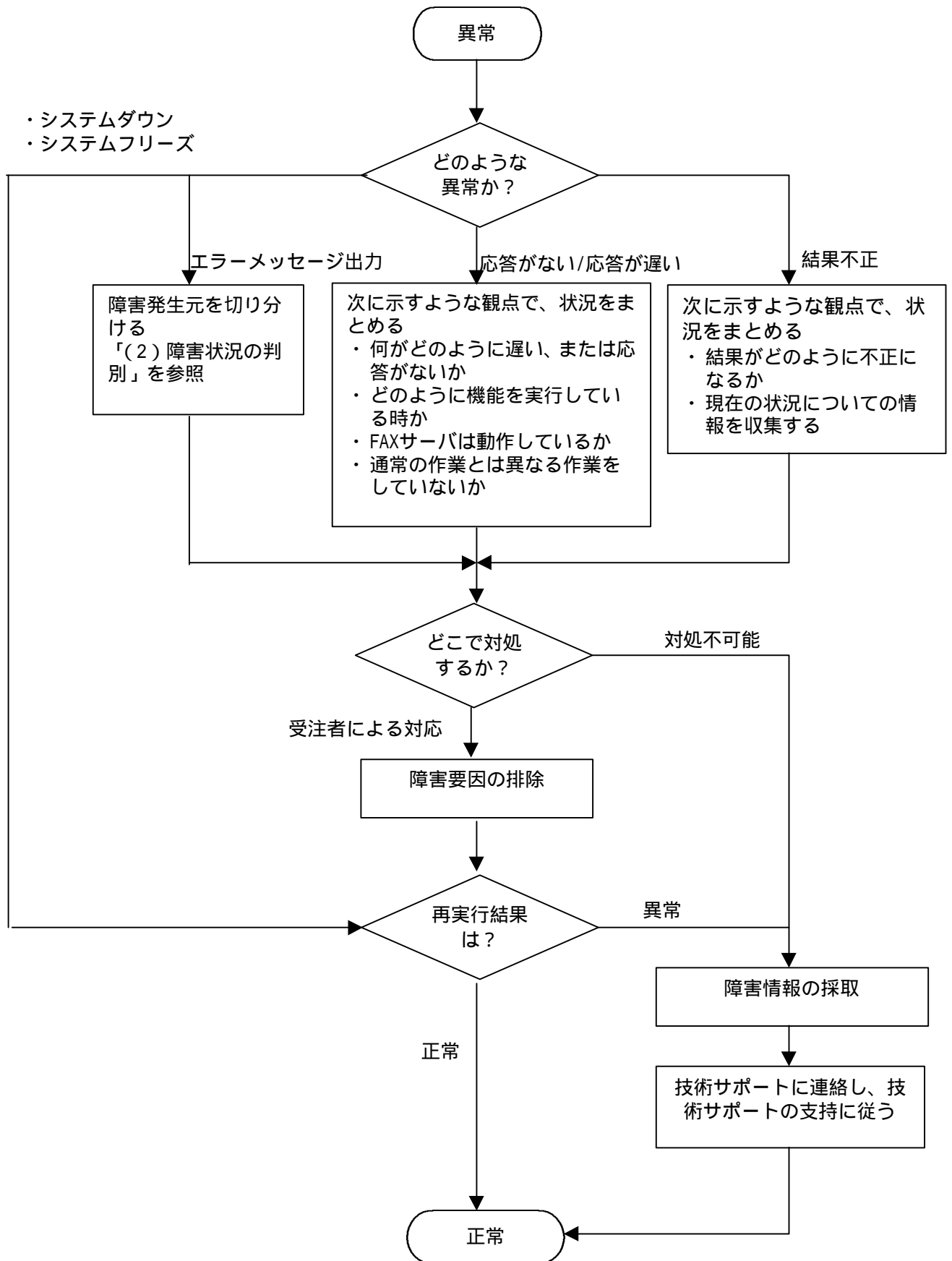


図 3 . 3 . 6 - 1 障害が発生してから正常に戻るまでの作業の流れ

## ( 2 ) 障害状況の判別

( A ) どのような障害が発生したかを把握する為に、障害発生時のメッセージを確認します。  
また、表 3 . 3 . 5 - 1 エラー一覧のエラー内容から該当するエラー内容を確認します。

## ( B ) 障害の診断

( a ) 障害発生状況と出力されているメッセージを確認します。

### ( b ) 障害要因による診断

メッセージが示す障害の要因は、以下の3つに分類されます。

#### ( ア ) ユーザが対処できる障害要因

操作方法、環境設定、および、運用の誤りによるもので、ユーザが直接に要因を排除可能です。

#### ( イ ) ユーザが対処できない障害要因

ユーザは障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要があります。

#### ( ウ ) 障害要因が判断できない障害

突然システムがダウンした場合などは、再度、同一操作を実施し、再現する場合は、障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要があります。

## ( 3 ) 障害要因の排除

表 3 . 3 . 5 - 1 エラー一覧の対処方法に従い、障害の対処を実施し、再実行します。

エラー時の対処法でも復旧しない場合は、コンピュータを再起動して、業務を再開します。

コンピュータの再起動でも復旧しない場合は、航空機業界標準 EDI システムプログラムをアンインストールしてから、再度インストールを実施します。

それでも、同様の障害が発生する場合は、障害情報を採取して、技術サポートに連絡する必要があります。



#### ( 4 ) 障害情報の採取

再実行を実施しても同様の障害が発生した場合は、サポートに連絡する為に障害情報を採取します。

採取する障害情報を以下に示します。

##### ( A ) 操作手順

障害発生に至るまでの詳細は操作手順（画面のハードコピー、操作内容のメモ、入力した内容など）

##### ( B ) 出力メッセージ

画面上に出力されるメッセージの内容

##### ( C ) 通信履歴

通信エラーが発生している場合は、通信履歴画面のハードコピー。